



新久小学校だより

令和7年度第10号
令和8年2月2日発行
児童数 235名

地域・家庭との絆の中で 子どもの夢を育む学校
～ 豊かな心の子 たくましい体力の子 たしかな学力の子 ～

今こそ「新たな一歩」を

立春とは名ばかりの寒さが続いておりますが、保護者のみなさまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。校庭では、子どもたちが冷たい風にも負けず、元気いっぱい走り回る姿が見られます。時折、吐く息を白くしながらも、友だちと声をかけ合い、楽しそうに遊ぶ姿に、こちらまで温かな気持ちになります。



さて、もうすぐイタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォを舞台に冬季オリンピックが開催されます。2月6日の開会式を皮切りに、8競技、116種目（パラリンピックは3月6日開会式、6競技、79種目）で熱戦が繰り広げられます。スキーやスケート、スノーボードなど、どの競技に出場する選手も、そのわずかな競技時間のために、何年もの間、日々努力を重ねてきました。1つの技、1回のジャンプ、一瞬の滑走の裏側にあるのは、地道な練習の積み重ねです。同じように、学校では漢字や計算のドリル学習、挨拶や授業での話し合い、友だちとの関わり方など、日々の小さな取組を積み重ねることで、子どもたちは確かな成長を見せています。改めて、その一歩一歩の大切さを感じます。

注目したいのは、今回の大会で正式に採用された新種目「スキーマウンテニアリング（山岳スキー）」です。雪山を登り下りし、状況に応じて装備や滑り方を変えるこの競技は、まさに挑戦と工夫と努力の連続です。新たなことに挑戦する勇氣、様々な工夫を凝らし少しでもタイムを縮めようと懸命に努力する姿には、順位や結果にかかわらず大きな感動を覚えます。地上波放送があるかはわかりませんが、お子さまといっしょにご覧いただきたい競技の1つです。子どもたちには、そこから何かを感じ、学び取ってもらいたいと期待しています。



そして、学年の締めくくりが近づく今こそ、それぞれが自分の「新たな一歩」を踏み出す季節でもあります。今の学年のうちに、できることをもう1つ増やしてみる。苦手なことへの挑戦をしてみる。その小さな一歩が、次の学年への確かな自信につながるはずです。

さらに、今回の冬季オリンピック・パラリンピックは、ミラノとコルティナの2つの都市による共同開催という特徴があります。会場は複数の地域にまたがり、多くの人々が協力し合って大会を支えています。異なる地域、異なる文化の人々が一つの目標に向かって力を合わせる姿は、私たちの学校生活にも通じるものがあります。学年やクラスの違いを越え、友だちのよいところを認め、困ったときには支え合う——そんな「つながり」が学校をより温かい場所にしてくれます。

子どもたちがこの1年で積み重ねてきた成長を大切にしながら、今年度の残り2か月も一人ひとりの輝きを支えていきたいと思っております。

1月の様子



1月8日 一斉下校
いつも登下校の見守りをしてくださる方々に感謝の言葉を伝えました。

1月14日 お店紹介朝会
それぞれのクラスが、自慢のお店を紹介しました。



1月17日 新久小まつり
工夫を凝らしたお店は、どこにもぎわっていました。お客さんも店員さんも楽しそうでした。



1月17日 PTA バザー
体育館がお客さんであふれ返っていました。この日のために、ご準備ありがとうございました。



1月21日 給食ありがとう集会
いつも給食を用意してくれる栄養士さん、調理員さんにお礼の手紙をプレゼントしました。



1月30日 東金子中学校区小中連絡会
東金子小・中学校の教員が本校の授業の様子を参観した後、次年度へ向け、情報交換・協議を行いました。



1月28日 たてわり遊び
久しぶりのたてわり遊びを、みんな思い切り楽しんでいました。



保護者の皆様へお願い



インフルエンザB型も流行し出したようです。引き続きリーバーによる体調報告や調節できる服装での登校をお願いします。また、部屋の換気・手洗い・うがい、規則正しい生活等、ご家庭でもご留意ください。

